

大崎市長を訪問!!

1 学年「総合的な探究の時間」の学習成果

世界農業遺産「大崎耕土」課題解決策を提案!!

(Food and Agriculture Organization of the United Nations (国際連合食糧農業機関) 2017年認定)

「大崎耕土～ウルトラ作戦!!～」

2月7日(火)伊藤康志大崎市長を訪問し、大崎耕土の魅力や宝物を全国に発信し、20万人都市実現を目標に「人」を呼び込むための手段「大崎耕土～ウルトラ作戦!!～」をプレゼンしました!!

1. 学習成果のプレゼンテーション

対象：大崎市
依頼対象：伊藤康志 大崎市
参加生徒：1学年代表生徒3名
日時：令和5年2月7日(火)10時30分～(1時間程度)
場所：大崎市役所 市長応接室



2. プレゼンテーションの趣旨

本校の1学年では、「総合的な探究の時間」の中でSDGsを起点とする探究活動を行いました。探究活動をとおして得た学習成果を、大崎地域のために役立てたいと考えています。

今回のプレゼンテーションは、1月に開催された「全校学習発表会」で学年を代表して発表されたものです。大崎地域の方が、宝物と考えている「世界農業遺産「大崎耕土」」の魅力や宝物を全国に発信し、地域に経済的効果をもたらす起爆剤になるものと考え提案したものです。



3. SDGs (パートナーシップ) に関する提案の内容

「大崎耕土～ウルトラ作戦!!～」と題して、二つのフレームと六つのユニットを提案!!

○フレーム1：横断「大崎耕土」マラソン大会

世界農業遺産「大崎耕土」登録による農業文化の発信、およびSDGs未来都市としての持続可能な取り組みとしての提案。

○フレーム2：横断「大崎耕土」マラソン協賛イベント

マラソン大会協賛イベントととして、六つのユニットを提案。

U-1 「大崎耕土ブランド認定プログラム」

横断「大崎耕土」マラソン大会会場で物産展を開催し、大崎耕土産ブランド品や記念グッズを販売する。売上金は参加事業者の収入とし一部を大会基金としてストックさせて頂く。

U-2 「防災パッケージ化プログラム」

防災用品・備品の展示販売を行うと共に災害を想定した「防災対策パッケージ」を提案する。

U-3 「簿記カフェプログラム」

珈琲を飲みながら、家計を圧迫している要因を分析し農業簿記の基礎・基本について学習する。

U-4 「後継者育成プログラム」

来場者や地域の小・中・高校生に世界農業遺産の資源をめぐるバスツアーを開催し、大崎耕土の魅力や宝物を広く紹介し伝承する。

U-5 「移住者営農プログラム」

空家・空店舗を活用した「人」の受け入れと独立・農業法人への雇用推進イベントを開催する。

U-6 「陸羽東線 大崎耕土横断鉄道プログラム」

陸羽東線を「陸羽東線大崎耕土横断鉄道」に改称し、現駅名に大崎耕土関連施設名を付加、大崎耕土案内板を設置する。

伊藤康志大崎市長をはじめ、大崎耕土推進委員会皆様、産業振興局長様、産業経済部長様、その他の御協力頂いた皆様、貴重な機会を頂きましたことに心より御礼申し上げます。